

東海

東海の景況は、住宅建築が横這いとなったものの、輸出、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が増加したほか、スーパー販売も増加し、上向き。住宅建築は、持家、分譲住宅が増加したものの、貸家が減少し、全体では横這い。設備投資は、建築着工床面積が減少し、足踏み。公共工事は、独立行政法人等、県が増加したものの、国が減少し、一進一退。輸出は、一般機械、電気機械が増加し、回復に向けた動き。

生産活動は、輸送機械、電子部品・デバイスが増加し、回復に向けた動き。観光は、温泉地、観光地への入込客が伸び悩み、全体では横這い。雇用は、有効求人倍率が上昇し、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								